

令和8年第12回宝塚市教育委員会の会議（臨時会）会議録

- 1 開催日 令和8年7月7日（火）
- 2 場 所 宝塚市役所 教育長応接室（教育委員はオンライン出席）
- 3 開会時間 午後5時30分
- 4 閉会時間 午後5時40分
- 5 出席した委員の氏名
赤井 稔教育長、松浦 一枝委員、石井 克馬委員、春日井 敏之委員及び川上 泰彦委員
- 6 除斥した委員の氏名
- 7 委員及び傍聴人を除く、議場に出席した者

管理部長	高田 輝夫	教育企画課長	飯田 博
学校教育部長	藤川 明人	教育環境整備課	三浦 庸平
管理部次長	廣瀬 義則	幼児教育センター所長	植出 都
学校教育部次長	三ヶ尻 桂子	教育企画課係長	樋口 愛介
- 8 会議の書記
教育企画課事務職員 中瀬 陽子
- 9 議題
議案第14号 宝塚市教育環境審議会への諮問について

会議の概要

開会 午後 5 時 30 分

赤井教育長

それでは、令和 8 年第 12 回宝塚市教育委員会臨時会を開催いたします。
本日、傍聴希望者はいらっしゃいますか。

飯田課長

傍聴希望者はいらっしゃいません。

赤井教育長

本日の署名委員は石井委員です。よろしくお願いします。
本日の付議案件は、議決事項 1 件です。
それでは、進行について事務局からお願いします。

飯田課長

本日の付議案件は、議決事項 1 件です。
案件は、議案第 14 号 宝塚市教育環境審議会への諮問について、です。
ご審議のほどよろしくお願いいたします。

赤井教育長

それでは、議案第 14 号 宝塚市教育環境審議会への諮問について、担当課より説明をお願いいたします。

三ヶ尻次長

議案第 14 号 宝塚市教育環境審議会への諮問について、提案理由をご説明申し上げます。
幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期に当たります。そのため、本市では、市立幼稚園 7 園、私立幼稚園 14 園、公私立保育所 35 所園、小規模保育施設 3 施設、合わせて 59 の施設で幼児教育・保育を担っています。
これまでの少子化に加えて、近年、本市では長時間保育を実施する保育所への需要が高まっていることから、幼稚園の園児数が大幅に減少しており、特に市立幼稚園の園児数の減少は顕著で、今後もこの傾向は継続するものと見込んでいます。
市立幼稚園では、既に全ての幼稚園で各学年が単学級になっており、1 学級あたりの平均園児数は 12 人で集団による効果的な保育が困難な状態になっています。
こうした市立幼稚園の適正規模及び適正配置について再考する必要があるものと考えています。
次に、市立幼稚園に対しては、過去から 3 年保育や保育時間の延長、それに伴う給食サ

ービスの提供など、保護者から多くの要望が寄せられてきました。

市立幼稚園の適正規模及び適正配置の検討結果も踏まえて、市立幼稚園の機能の充実に
についても検討する必要があります。

また、本市の就学前児童の 95%の児童が市立小学校へ進学しています。そのため、教育
委員会では、本年 4 月に宝塚市就学前教育ビジョンを策定し、本ビジョンに基づく教育の充
実として、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10 の姿）を策定しています。

この他、本市では平成 29 年度（2017 年）から幼児教育センターを設置して、私立幼稚園
や公私立保育所に経験豊富なアドバイザーを派遣することや研修会を企画するなど、就学
前教育・保育施設の質の向上を図ってきました。

特に配慮の必要な幼児が増加傾向にあることから、特別支援教育を充実させる必要があ
り、小学校への連携も重要になってきます。

市立幼稚園に就園する児童が減少する中、就学前施設の類型に関わらず、広く幼児教育を
充実発展させるために果たすべき教育委員会の役割や就学前教育の拠点としての市立幼稚
園の在り方について検討する必要があります。

以上のことから、宝塚市教育環境審議会規則第 2 条の規定により、以下の 3 点について
諮問します。

- (1) 市立幼稚園の適正規模及び適正配置について
 - (2) 市立幼稚園の教育・保育の在り方について（機能充実）
 - (3) 教育委員会及び市立幼稚園の公教育としての役割について
- 説明は以上です。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

赤井教育長

ありがとうございました。

それでは、何かご質問等ありましたらお願いします。

石井委員

先ほどの 3 点目のところで、特別支援教育を充実させる必要があるというところは、宝塚
市立幼稚園の方で担っていくということなのか、この辺りも審議会に諮問して、アドバイ
スや意見をいただくということでしょうか。

高田部長

これは市立幼稚園だけではなくて、私立幼稚園も含めた全ての施設で、配慮の必要な子
をどのように受け入れていくのか、そこに教育委員会や行政が、どう支援していくのかとい
う、そうした視点でご意見いただければと考えています。

石井委員

なるほど、わかりました。

川上委員

確認させていただきますが、今のやり取りの部分っていうのは、諮問の（3）に入っているという理解でよろしいですか。

高田部長

はい、そのとおりです。

川上委員

わかりました。特別支援教育というワードは入っていませんが、諮問の（3）に含ませているという理解でよろしいですね。

高田部長

はい。

赤井教育長

他に何かありますか。

委員

（なし）

赤井教育長

よろしいですか。

それではないようですので、議案第 14 号 宝塚市教育環境審議会への諮問については、原案の通り可決でよろしいでしょうか。

委員

（承認）

赤井教育長

ありがとうございます。

本日の予定の案件は以上ですが、他に何か報告いただくことはございますか。

飯田課長

他に案件はございません。

赤井教育長

それでは、本日の教育委員会臨時会は以上といたします。

ありがとうございました。

————— 閉会 午後 5 時 40 分 —————